

## 旧ソ連時代にロシアで記録されたイテリメン語資料について

小野 智香子

キーワード：イテリメン語，語彙研究，ロシア，言語資料の電子化

ロシア科学アカデミー言語学研究所（Институт лингвистических исследований РАН, サンクト・ペテルブルク市）には、旧ソ連時代にロシアの研究者たちによって記録されたイテリメン語の手書き資料が保存されている。筆者は2011年12月-2012年1月および2012年2月-3月に同研究所を訪問し、イテリメン語の言語資料アーカイヴについて調査を行った<sup>1</sup>。同研究所の研究員 A. P. ヴォロージン氏が1960年代から1970年代にかけて記録・収集した語彙データアーカイヴが主要な位置を占めているが、そのほかロシアの民族学者オルロワやスタルコワによる手書き資料が残されている。以下にその具体的な内容と現在の状態について報告する。

### 1. オルロワのイテリメン語資料

オルロワ (E. П. Орлова) はロシアの民族学者であり、ラテンアルファベットによるイテリメン語の書記法の創設や初等教科書の出版など、民族語教育にも尽力した人物である。研究所には1920年代～30年代にオルロワが調査・記録したノートのコピー38枚が所蔵されている。コピーはA5サイズのノートの実寸大で、コピーされた用紙は厚みのある固い紙であった（フォトコピー）。日焼けによる変色があるほか、飲み物をこぼしたような跡も見られる。元のノートはロシア語の語彙がキリルアルファベット順に B から Я まで並び、ロシア語に対応するイテリメン語の語彙がラテンアルファベットとその修飾文字で書かれている。コピーのクオリティ自体はあまり良くはなく、全体的に灰色がかっていたり、または白過ぎたりして読みにくい箇所がある。A-Bのページのコピーは紛失してしまったが、そこに記録されていた語彙をヴォロージンが書き写したものがカードの形で残っており、カード形式になっているものは1,160枚ある。カードはオルロワが記したロシア語—イテリメン語の対応につきそれぞれ1枚ずつ書き写されているので、写し間違いがないと仮定すれば1,160の語形を数えることができるだろう。ノートのコピーにはオリジナルの手書き資料がいつ、どこで、どの話者から記録されたものかについての記載はない。ただしオルロワがカムチャツカでイテリメン語を調査した時期から考えると、1929年～1935年のものである可能性が高い（Orlova 1937, 1999）。

<sup>1</sup> 本稿は科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）「イテリメン語の語彙データベース構築と比較研究-系統・接触関係の解明に向けて-」（平成23年度～26年度 基盤研究C, #23520493）およびNSF助成金“RAPID - Definitive Dictionary for All Itelmen: Urgent managing of the lexical data archives of Aleksandr Pavlovich Volodin” (2012, #1155973) により実施された調査に基づいている。



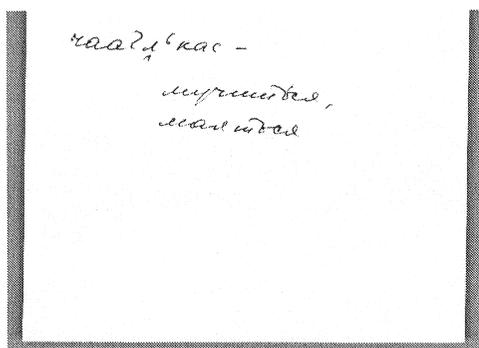
## 2. スタルコワのイテリメン語資料

スタルコワ (Н. К. Старкова) はイテリメン出身の民族学者である。1960年代にフィールド調査を行い、イテリメンの物質文化の研究で知られている (Старкова 1976)。彼女が収集したイテリメン語彙は手書きカードの形式で7箱分保存されている。イテリメン語西部語南部方言の見出し語が6,766枚、西部語北部方言の見出し語が243枚、ロシア語を見出しにしてそのイテリメン語訳を記したカードが5,274枚、合計12,283枚である。キリル文字およびその変形文字を使用して油性ボールペンで書かれており、カードの保存状態も良く、語形がかなりはっきり読み取れる。ヴォロージンによると、このカードの語彙の多くはウトウホロク村 (イテリメン語西部語南部方言話者の居住地、現在は廃村) 出身の父親から聞いて書き留めたものだという。

### 資料2: スタルコワのイテリメン語彙カード資料

#### (2-1) 西部語南部方言語彙データ

(イテリメン語—ロシア語)

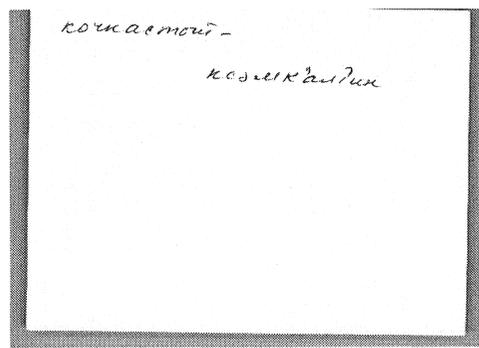


чаа?лькас - мучиться, маяться

саа?лькас 「苦しむ」

#### (2-2) 西部語南部方言語彙データ

(ロシア語—イテリメン語)



кочкастый - ксэмк'ал'пин

「谷地坊主のある」 kšəmk'al'pin

## 3. ヴォロージンのイテリメン語資料

ロシアにおけるイテリメン語の専門家であり、ロシア科学アカデミー言語学研究所の研究員であるヴォロージン (А. П. Володин) は、自身の長年の研究を通じて記録したイテリメン語—ロシア語辞書資料を手書きカードの形で同研究所に保管している。全9箱の中に4,404の見出し語、カード総数12,281枚を有する。すでに出版されているイテリメン語—ロシア語辞典 (Халоймова и Володин 1989, 2001, Володин 2008) はこのカードの語彙データが元になっている。このイテリメン語彙カードアーカイブの大部分は、ヴォロージン自身が1960年代から1970年代にかけて実施したカムチャツカでのフィールド調査により記録した西部語南部方言データである。各見出し語カードの右上に、当該の語を記録した年が記載されている。見出し語カードに加え、過去に他の研究者等によって文献

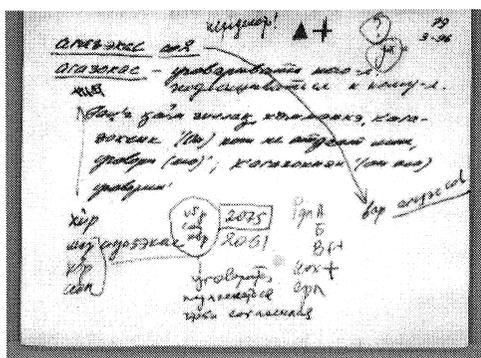
に記録された語彙が関連づけられ、クリップでひとまとめにして保管されている。例えば、一つの見出し語についてカードが1枚（つまり、見出し語カードのみ）の場合もあれば、30枚ほどがセットになっている語彙もある。過去に記録された文献からの語彙データの出典は表1のように略記されている。

表1：ヴォロージンのイテリメン語彙カード略号

旧カード略号	新カード略号	意味	出典
Крш А	Крш В	クラシェニンニコフ（東部語）	Крашенинников (1949)
Крш Б	Крш Ю	クラシェニンニコフ（南部語）	
Крш В	Крш З	クラシェニンニコフ（西部語）	
Рдл А	Дыб В	ディボウスキ（東部語）	Radlinski, <i>Słowniki narzeczy ludow kamczackich.</i>
Рдл Б	Дыб Ю	ディボウスキ（南部語）	
Рдл В	Дыб З	ディボウスキ（西部語）	
Тюш		チュショフ（西部語）	Тюшов (1906)
Иох		ヨヘリソン（西部語）	Worth (1961) (1969)
Орл		オルロフ（西部語）	オルロフ手書きノートのコピー
Мол		モール（西部語北部方言）	Молл (1960)
Стрк		スタルコフ（西部語）	スタルコフ手書きカード資料

資料3：ヴォロージンによるイテリメン語見出し語カード

агазэкас (awazekas)- уговаривать кого-л. 「～を説得する」



カードの右肩に記録した年（1979年）

その下の数字はヴォロージンの個人メモ

右下の Рдл В ++ は、ディボウスキ（西部語）が2語、  
Иох + はヨヘリソンが1語、それぞれ関連する語を記録  
していたことを示している。

カードへの書き込みが煩雑でわかりにくくなったため、ヴォロージンは現在、新しいカードへの書き換え作業を行っている。その際、旧カードに記載されていた略号を表1のように書き改めている。



Српс  
Велики српски - српски  
(Велики - српски)

Српс  
Велики српски - српски  
или Велики српски - српски  
српски, српски, српски  
српски  
0.101

Српс  
Велики српски - српски  
српски, српски, српски

Српс  
Велики српски = Велики српски, Велики српски - српски, одговорно српски

Српс  
Велики српски - српски + српски  
српски, српски  
Српски

Српс  
Велики српски - српски + српски  
српски  
српски

т үзүүрээс хөх.

Узүүр - сойма; үзүүрэнк - ха сойма;  
 Күйнэнкэ, үзүүрэнкэ - ха сойма, х  
 сойма.

Фр.

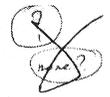
Нэйнэ - гора (ср. үзүүрээ)

Фр.

Узүүрээ - гора (ср. нэйнэ)

Фр.

Уайн - хрэдөөт гора



(4-2) нэйнэ (nejne) 「山」: 新カード

\*

Узүүр. мн. үзүүрэн - гора, сойма; абц. үзүүрэн  
 гористае мөсткөсэй, хайрзавсана хрэдөөт;  
 үзүүрэн, мн. үзүүрэн-варсий; Крж Ю  
 камуз гора; Дьб В инзиг, мн. инзиг гора,  
 горний хрэдөө, инзини горисей, канэнин,  
 энжий гористей, холмистей; Дьб Ю  
 кийннэ, мн. камуз гора; Дьб З пейне,  
 пейне, мн. пейнен гора, горний хрэдөөт;  
 неах, кейнеэлик горисей, гористей,  
 немъяу, вэр. пейунто, пейунто одимотал,  
 →

\*II

отдүлто отиенцае гора; Тош. Кэйнэ гора;  
 Иох. Узүүр сойма; үзүүрэнк ха сойма;  
 күйнэнкэ, үзүүрэнкэ ха сойма, х сойма;  
 Фр. нэйнэ, үзүүр гора, уайн хрэдөөт гора.

資料4は нэйнэ (nejne) 「山」という語彙のカードである。(4-1)は旧カードで、ヴォロージンのイ  
 テリメン語彙カードのほとんどがこの構成になっている。すなわち、ヴォロージン自身がフィールド

調査で確認して記録した見出し語カード、次に関連する語形（複数形、総数形など）、他の文献からの語彙（クラシェニンニコフ、ディボウスキ、チュシヨフ、ヨヘリソン、オルロワ等）が続いてひとつのセットが作られている。これを簡潔にまとめたものが(4-2)のような新カードである。(4-2)には次の内容が記されている(4-3) (4-4)。

#### (4-3) 新カードキリル文字表記

Һэйһэ, мн. Һэйһэ?н – гора, сопка; общ. Һэйһал – гористая местность, ‘хайрюзовские хребты’, Һэйһэ?ин, мн. Һэйһэ?и?п – горный; Крш Ю намуд гора; Дыб В инзич, мн. инзид гора, горный хребет, инзиин горный, кинзиин, энжит гористый, холмистый; Дыб Ю низэниэ, мн. намуд гора; Дыб З неине, нейне, мн. нейнен гора, горный хребет, неал, нейнеалин горный, гористый, неимту, вар. нейумто, нейунто одиночная, отдельно стоящая гора; Тюш ныйнгэ гора; Иох Һэйһэ сопка; Һэйһэнк на сопке; найнанкэ, Һайнанкэ на сопку, к сопке; Орл нэинэ, Һэйһэ гора, Һайн хребет гор.

#### (4-4) 新カード IPA 転記および日本語訳

nejne, 複数形 nejne?n 山, 丘; 総数形 nejnal 山がちな場所, ハイリュージュヴォ山脈, nejne?in 複数形 nejne?i?n 山の; クラシェニンニコフ(南) namud 山, ディボウスキ(東) inzic, 複数形 inzid 山, 山脈, inziin 山の, kinziin, enzhit 山がちな; ディボウスキ(南) nejnie, 複数形 namud 山; ディボウスキ(西) neine, nejne, 複数形 nejnen 山, 山脈, neal, nejnealin 山の, 山がちな, neimtu, var. nejumto, nejunto 一つの, 単独の山; チュシヨフ nijnge 山; ヨヘリソン nejne 丘; nejnenk 丘の上で; najnanke, Һajnanke 丘の上へ, 丘の方へ; オルロワ neine, nejne 山, Һajn 山脈。

#### 4. 資料の電子化の状況

2012年5月現在、アラスカ大学と千葉大学の共同研究プロジェクトとして、上記すべてのイテリメン語資料（オルロワ、スタルコワ、ヴォロージンの語彙データ）の電子化を進めている<sup>2</sup>。ロシア科学アカデミー言語学研究所の協力を得て、ドキュメントスキャナによるカード両面の画像データ化がほぼ完了した。今後はカードに書かれたデータの内容を精査し、ヴォロージン氏およびイテリメン語話者の協力を得ながら、コンピュータへの入力を開始する予定である。なお入力には SIL International の FieldWorks Language Explorer (FLEX)<sup>3</sup> を使用することが上記プロジェクト遂

<sup>2</sup> NSF 助成金 “RAPID – Definitive Dictionary for All Itelmen: Urgent managing of the lexical data archives of Aleksandr Pavlovich Volodin” (2012, #1155973, PI: Michael Krauss, UAF) および “Integrated Audio-Visual Documentation of Itelmen” (2011-2014, #1065619, PI: David Koester, UAF) による。

<sup>3</sup> 辞書を作成しながらテキストへのアノテーション付与や分析を効率的に行うことのできるソフトウェア。SIL Shoebox – Toolbox の後継ソフトウェアと位置づけられる。http://fieldworks.sil.org/flex/

行の前提となっているのだが、実際のカード型語彙資料に記載された手書き文字と、それに付随する情報をどのように構造化していくのかを検討し、データベース構成に反映させる必要があるだろう。

引用文献：

- Radlinski, I., *Słowniki narzeczy ludow kamczackich*. Rozprawy Widzialu filologicznego Akademii Umiejetnosti w Krakowie, 1891-1894, XVI-XVIII.
- Worth, Dean S., *Kamchadal Texts collected by W. Jochelson*. Mouton. 's-Gravenhage. 1961.
- Worth, Dean S., *Dictionary of Western Kamchadal*. University of California Press. Barkeley/Los Angeles, 1969.
- Володин, А. П., Тематический словарь ительменского языка: Учебное пособие для старших классов школ, педагогических колледжей, вузов. Дрофа, Спб. 2008.c
- Володин, А. П., Халоймова, К. Н., Словарь ительменско-русский и русско-ительменский. Просвещение, Ленинград. 1989.
- Володин, А. П., Халоймова, К. Н., Словарь ительменско-русский и русско-ительменский. 2-е издание, дораб. Просвещение, Ленинград. 2001.
- Крашенинников С. П., Описание земли Камчатки. IV издание, Москва-Ленинград, 1949.
- Молл, Т. А., Очерк фонетики и морфологии седанкинского диалекта ительменского языка. Учение записки. Ленинград. 1960.
- Орлова, Е. П., Ительменские сказки, Лнгфак, ЛИФЛИ. 1937.
- Орлова, Е. П., Ительмены. Историко-этнографический очерк. Наука, Спб. 1999.
- Старкова Н. К., Ительмены. Материальная культура XVIII-60-е годы XX века. Этнографические очерки. Наука, Москва. 1976.
- Тюшов В. Н., По западному берегу Камчатки. Записки Русского географического общества по общей географии, т. XXXVII, No.2, XII. Санкт-Петербург, 1906.

(おの ちかこ・千葉大学人文社会科学部 特任研究員)

## Linguistic Material of Itelmen documented in Russia in the period of Soviet Union

ONO Chikako

### Summary:

This is a report on Itelmen linguistic material documented by Russian researchers and owned by Institute for Linguistic Studies, Russian Academy of Sciences (ILS RAN), St. Petersburg. Itelmen linguistic archive of ILS RAN contains following materials:

(1) Linguistic material of E. P. Orlova

This archive contains 38 photocopied cards from manuscript by Orlova, Russian ethnographer, for 1,160 lexical entries recorded in 1920's-30's. The Orlova's lexical archive has a structure of Russian-Itelmen dictionary, namely Cyrillic alphabetical order of Russian words with Itelmen translation in Latin alphabet. Most cards of the photocopy are understandable but some of them are gray-colored and not clear to understand. Volodin took all the lexical units from Orlova's material and added them to his lexical archive.

(2) Linguistic material of N. K. Starkova

This lexical archive recorded by Starkova, Itelmen ethnographer, contains 7 boxes (4 boxes for Itelmen-Russian, 3 for boxes for Russian-Itelmen, which is duplicated with the Itelmen-Russian card slips), overall 12,283 cards. The cards were made by Starkova with handwritten notes in Cyrillic. The most part of the lexical material was collected by her in 1960's-70's from her father born in an Itelmen village Utkholok. Her handwriting is well understandable. n

(3) Linguistic material of A. P. Volodin

This lexical archive recorded by Volodin, Russian linguist, contains 9 boxes, 12,281 cards for 4,404 lexical entries for general Itelmen dictionary in Cyrillic alphabetical order. The lexical material has been collected and documented by Volodin from his own fieldwork and from literature sources of other collectors, such as Krasheninikov, Dybowski (Radlinski), Tyushov, Jochelson (Worth), Orlova, Moll, and Starkova. Each lexical entry has at least one

head-card. Lots of entries have several sub-cards related to the lexical entry. Cards for one entry are clipped together as a sheaf.

Scanning of all linguistic materials of Orlova, Starkova and Volodin has been completed. The lexical entries of Itelmen are clear enough to read, but Russian translation and example sentences are sometimes difficult to understand. Also there is a need to select what notes and comments by Volodin are necessary for entering data in FLEx.